

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハートシード風		
○保護者評価実施期間	R 6年10月1日		R 6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	R 6年10月1日		R 6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	R 6年11月29日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の専門職を配置しています。作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、社会福祉士、保健師、保育士が配置され、それぞれの専門性を発揮しながら、チームで個々のお子さまの発達や特性に応じたきめ細やかな支援を提供しています。	多職種の専門職がいることで、様々な視点を持って支援をしています。活動後の振り返りの中で、意見を出し合い、より良い支援が出来るように努めています。 まなこどもクリニックの医師、臨床心理士とのやりとりも積み重ねています。	多職種がいる良さを活かし、様々な専門職による職員間での研修を実施していきます。
2	親子で参加することによって、実際にお子さまと関わりながら、お子さまの特性や接し方を一緒に考えながら学んでいきます。他のご家族と出会い、語り合う中で多種多様な価値観や子育て感を知り、“我が家流”を育んでいきます。	日々の活動場面や、保護者同士の活動の振り返りの時間、面談などを通してお子さまとの関わりや声かけなどについて、一緒に考える機会を設けています。	個別支援計画や半年毎のモニタリング計画、面談を丁寧に行っています。日頃からの保護者の方とのコミュニケーションや共有することを大事にしています。
3	小集団の活動の中で、人との関わり、コミュニケーションを大切にしながら、お子さまの主体性を発揮し、自信を育んでいきます。	小集団の中で、その子らしさが発揮できるように、遊びの中で関心のあるものを取り入れながら活動内容を考えています。お子さまが安心して活動に参加し、伸び伸びと楽しく参加できるように、お子さまに合ったクラスを検討しています。	1人ひとりのお子さまの理解を深めるために、支援場面等を通して、お子さまの姿や関わり方を保護者の方と一緒に考えていく姿勢を大事にしています。喜んだり、時には悲しんだりを保護者の方と共有しながら、育ちを見つめていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容によっては、活動スペースが十分に確保できないことがあります。活動していく中で、スペースをどう有効的に使っていかを日々試行錯誤しながら活動を考えていく必要があります。	親子参加に重きを置いているため、どうしてもスペースの確保には難しさがあります。伸び伸びと身体を動かすには、狭さを感じさせてしまう場合があります。	できるだけ密にならずに活動ができるような設定は、常に心掛けています。職員人数もその都度調整しながら活動を実施していきたいと思っています。お散歩など屋外で思い切り身体を動せるような活動も取り入れています。
2	園庭がないため、室内活動が主となっています。	親子クラスでは、毎月活動内容が変わり、外活動は年に3ヶ月程度となってしまいます。外活動に限らず、造形やごっこ遊び、音楽や水遊び、身体活動等、色々な遊びを楽しんでもらいたい思いがあります。	室内活動の中でも、思いっきり身体を動かしたり、季節を感じられるような活動を今後も考えていきます。
3			